

IV. 教育研究活動

[共通部門]

【著書】

- 田島文博, 山田 深, 浅見豊子, 阿部和夫, 安倍基幸, 土岐明子, 野々垣学, 平岡崇: リハビリテーション医学ガイド 社団法人日本リハビリテーション医学会 2010.
- 中村憲正 (分担執筆): スキル関節鏡視下手術アトラス, 文光堂, 328-329, 2010.5.
- 中村憲正 (分担執筆): 競技スポーツ帯同時に役立つ外傷初期治療ガイド 82-88, 文光堂, 2010.11.
- 柴田雅朗 (分担執筆): 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学, 廣川書店, 2010.2.

【原著論文】

- Hiraoka K, Notani M, Iwata A, Minamida F, Abe K: Premovement facilitation of corticospinal excitability in patients with Parkinson's disease. Int J NeurosciFeb; 120(2):104-9, 2010.
- Abe K, Uchida Y, Notani Y: Camptocormia in Parkinson's disease. Parkinson's disease Volume 2010, Article ID 267640, 5 pages.
- 阿部和夫, 戎居多希子, 橋本直子, 北村重和, 小倉 純: "ウエルニッケ"失語に移行する失語の解釈. 神経内科 72(2):232, 2010.
- 阿部和夫: 失語性言語障害を伴った"頭痛の無い片頭痛". 内科 105(4):730-732, 2010.
- 松尾善美, 山本清香, 内田 豊, 木谷文哉, 小形晶子, 森川孝子, 鎌田理之, 高島千敬, 北村重和, 阿部和夫: パーキンソン病における運動リズムと運動イメージ. 神戸学院総合リハビリテーション研究 5(1):2128, 2010.
- 阿部和夫, 秋山尚之, 山本雅也, 藤田真佐之: アートメイク眉と MRI. 神経内科 72(4):428-429, 2010.
- 阿部和夫, 河野奈美, 内田 豊, 山本静香, 大西智恵子, 澤下浩二, 小西智子, 福西 梓, 小林弘美, 田野絢子, 中沢尚子, 高内麻千子: パーキンソン病に対する運動療法の開発. リハビリテーション科診療近畿地方会 2010; 10: 15-19.
- 小口 健, 森本信三, 土佐和史, 中井啓介, 中本佳代子, 辻 淳, 阿部和夫: 糖尿病性ヘミヒョレアに対するリハビリテーションの経験. リハビリテーション科診療近畿地方会 2010; 10: 26-28.
- Shimomura K, Ando W, Tateishi K, Nansai R, Fujie H, Hart DA, Kohda H, Kita K, Kanamoto T, Mae T, Nakata K, Shino K, Yoshikawa H, Nakamura N: The influence of

skeletal maturity on allogenic synovial mesenchymal stem cell-based repair of cartilage in a large animal model. *Biomaterials*. 2010 Nov;31(31):8004-11. Epub 2010 Jul 31.

- Iwahashi T, Shino K, Nakata K, Otsubo H, Suzuki T., Amano H, Nakamura N : Location of ACL femoral attachment area critically determined by histological assessment. *Arthroscopy*, 2010, Sep;26(9 Suppl):S13-20.
- Shino K, Suzuki T, Iwahashi T, Mae T, Nakamura N, Nakata K, Nakagawa S : The resident's ridge as an arthroscopic landmark for anatomical femoral tunnel drilling in ACL reconstruction. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc*. 2010 Sep;18(9):1164-82
- Yonetani Y, Nakamura N, Natsuume T, Shiozaki Y, Tanaka Y, Horibe S : Fixation of detached osteochondritis dissecans lesions with bioabsorbable pins. *Clinical and histological evaluation. Arthroscopy*, 2010 Jun;26(6):782-9.
- Yonetani Y, Nakamura N, Natsuume T, Shiozaki Y, Tanaka Y, Horibe S : Histological evaluation of juvenile osteochondritis dissecans of the knee: a case series. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc*. 2010 Jun;18(6):723-30.
- 柴田雅朗, 飯沼宗和, 柴田映子 他 1 名 : マンゴスチン果皮抽出物の?-mangostin の高転移性マウス乳癌に対する転移抑制効果. *乳癌基礎研究*, 19, 1-7, 2010.
- Shibata MA, Shibata E, Morimoto J et al : Raloxifene inhibits tumor growth and lymph node metastasis in a xenograft model of metastatic mammary cancer, *BMC Cancer*, 10, 566, 2010.
- Shibata MA, Ambati J, Shibata E et al : The endogenous soluble VEGF receptor-2 isoform suppresses lymph node metastasis in a mouse immunocompetent mammary cancer model, *BMC Medicine*, 8, 69, 2010.
- Hoenerhoff MJ, Shibata MA, Bode A et al : Pathologic progression of mammary carcinomas in a C3(1)/SV40 T/t-antigen transgenic rat model of human triple-negative and Her2-positive breast cancer, *Transgenic Research*, 20, 247-259, 2011.
- Eid N, Ito Y, Shibata MA et al : Persistent median artery: Cadaveric study and review of the literature, *Clinical Anatomy*, Jan 12, [Epub ahead of print], 2011.
- Kanbara K, Mori Y, Kubota T, Watanabe M, Yanagawa Y, Otsuki Y : Expression of the GABAA receptor/Chloride Channel in murine spermatogenic cells. *Histol. Histopathol*. 26, 95-106 (2011)
- 松井理直 : 日本語条件文の主観的確率計算に関する一考察. *日本認知科学会第 27 回大会発表論文集*. 221-230. 2010.
- 松井理直 : 認知環境の更新に関する妥当な計算手法について. *Theoretical and Applied Linguistics at Kobe Shoin*, 13. 25-52. 2010.
- 松井理直 : 音韻部門における統語的焦点素性の韻律解釈. *Theoretical and Applied Linguistics at Kobe Shoin*, 14. 45-80. 2011.

- 森岡悦子, 金井孝典, 高橋秀典: 漢字に顕著な非古典型純粹失読の1例. 一語形認知システムへのアクセスの障害—. 神経内科, 74:82-86, 2011
- 森 尚彫, 伊藤寿一, 森 寿子, 平海晴一, 山口 忍他: 人工内耳対側耳に補聴器を装用した人工内耳装用児の両耳聴効果—人工内耳飲みと方耳補聴との比較—. Audiology Japan, 53(2),111-119,2010.
- 福山智子, 山本純子, 森田婦美子, 他1名: A校看護学生の自己受容と自尊感情に関する検討—卒業年次の進度に焦点をあてて—. 第41回日本看護学会論文集看護総合, 127~130, 2011.
- 福山智子: MDQを用いた成熟期女性の年代別月経随伴症状の検討. 第41回日本看護学会論文集母性看護, 130~133, 2011.

【総説】

- 清野佳紀: 子どもの骨について 骨の一生:子どもの骨の特徴. チャイルドヘルス, 14, 4-9, 2011
- 阿部和夫: 非運動症状がパーキンソン病の QOL に与える影響. The Priamo study 「Medical Report from Journal : Basic」 PD Today 30:12-13, 2010.
- 柴田雅朗, 森本純司, 柴田映子 他1名: VEGF-C, VEGF-DあるいはVEGF-A siRNA発現ベクターを用いた高転移性マウス乳癌モデルに対する癌遺伝子治療. リンパ学, 33, 42-47, 2010.
- 平海晴一, 山口忍, 伊藤寿一: 人工内耳の問題点と対応. 音声言語医学, 51(3),203-206,2010.

【講演】(学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ワークライフバランスに基づいた女性医師支援制度 (千葉県医師会女性医師部会公開フォーラム, 2011年1月20日 千葉県 清野佳紀)
- 医療機関におけるワークライフバランスの実現と経営 (第83回医療経営研究会, 2011年1月29日 福岡県 清野佳紀)
- シンポジウム「女性医師支援策について」(大阪府医師会 平成22年度第8~11(大阪市内)ブロック合同懇談会, 2011年2月3日 大阪府 清野佳紀)
- シンポジウム「医療現場における男女共同参画とは」(日本性差医学・医療学会 第4回学術集会 シンポジウム1, 2011年2月5日 山口県 清野佳紀)
- ワークライフバランスに基づいた病院経営(大分県平成22年度看護ネットワークサミット, 2011年2月13日 大分県 清野佳紀)
- ワークライフバランスの重要性(京都府立医大「平成22年度大学院教育ワークショップFD」及び「男女共同参画推進センター講演会」, 2011年2月19日 京都府 清野佳紀)

- Future of Sports Medicine to restore joint function (Hospital for Special Surgery (New York, USA) Visiting lecture, 中村憲正)
- Evidence based medicine in Cartilage Repair (14th European Society of Sports medicine, Knee surgery and Arthroscopy congress, Oslo, Norway, Symposist, 中村憲正)
- Scaffold-free Tissue Engineered Construct (TEC) derived from synovial mesenchymal stem cells to promote cartilage repair (第9回日本再生医療学会 2010年3月 広島, シンポジウム 中村憲正)
- Scaffold-free Tissue Engineered Construct (TEC) derived from synovial mesenchymal stem cells in musculoskeletal regeneration (第83回日本整形外科学会 2010年5月 東京 シンポジウム 中村憲正)
- Evidence based medicine in Cartilage Repair (Asia Arthroscopy congress 2010, September 2010, Beijing, China, Lecture, 中村憲正)
- Future of Sports Rehabilitation and regenerative medicine (International Sports and Orthopaedic Symposium 2010, May 2010, Keelung, Taiwan, Lecture, 中村憲正)
- Skeletal maturity and the quality of mesenchymal stem cell (MSC)-based cartilage repair -A large animal study- (9th World Congress International Cartilage Repair Society, September 2010, Sitges, Spain, Lecture, 中村憲正)
- Can drug affect cartilage repair ? (9th World Congress International Cartilage Repair Society, September 2010, Sitges, Spain, Lecture, 中村憲正)
- 軟骨の再生医学 ―間葉系幹細胞を用いた治療の可能性― (JST研究報告会, 2010年9月, 広島, 講演, 中村憲正)
- スポーツ整形外科における治療の実際 膝前十字靭帯損傷をモデルに (スポーツ栄養研究, 2010年7月, 尼崎, 講演, 中村憲正)
- 柴田雅朗, 森本純司, 飯沼宗和, 大槻勝紀: 血管新生・リンパ管新生を標的とした乳癌治療の基礎研究. 第42回日本臨床分子形態学会 ワークショップ, 東レ総合研修センター, 静岡, 2010.9.23.
- 柴田雅朗: エレクトロポレーションによる実験動物を用いた癌遺伝子治療の基礎研究. 第33回日本分子生物学会・第83回日本生化学会合同大会 ランチョンセミナー, 神戸国際会議場, 神戸, 2010.12.18.
- 第2回シンポジウム 発達障害の理解～感覚について考える パネラー山口 忍: 聴覚について どう聞こえているの? NPO 法人特別教育ネットワーク, 大阪大学中ノ島センター, 大阪府, 2010.3.22.

【学会発表】

- 高島千敬, 井上 悟, 島津健吾, 山本祐子, 阿部和夫: 呼吸器疾患における IADL トレーニングの有用性の検討. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 2010.10.1-02

長崎

- 河野奈美, 内田 豊, 山本静香, 大西智恵子, 澤下浩二, 小西智子, 福西 梓, 田野絢子, 高内麻千子, 小林弘美, 中澤尚子, 小倉 純, 北村重和, 阿部和夫 : パーキンソン病の疲労に対する運動プログラムの効果. 第 52 回日本神経学会学術大会 2010.5.13-16 東京
- Shimomura K., Fujie H, Nakamura N : Skeletal maturity and the quality of mesenchymal stem cell (MSC)-based cartilage repair -A large animal study- (9th World Congress International Cartilage Repair Society, September 2010, Sitges, Spain,)
- 下村和範 藤江裕道 中村憲正他 : 骨成熟は間葉系幹細胞を用いた軟骨再生に影響を及ぼさない (日本整形外科基礎学術集会, 2010 年 11 月, 京都)
- 柴田雅朗, 森本純司, 伊藤裕子, 大槻勝紀 : Splicing variant である可溶性 VEGF 受容体 2 (sVEGFR-2) 遺伝子は高転移性マウス乳癌に対してリンパ節転移ならびに肺転移を抑制する. 第 20 回乳癌基礎研究会, 宮崎, 2010.7.17.
- 柴田雅朗, 飯沼宗和, 柴田映子, 黒瀬仁美, 森本純司, 赤尾幸博, 土佐秀樹, 的場信吉, 大槻勝紀 : マンゴスチン果皮からの抽出物である α -mangostin の高転移性マウス乳癌に対する転移抑制効果. 第 69 回日本癌学会学術総会, 大阪, 2010.9.23.
- 柴田雅朗, 黒瀬仁美, 森本純司, 飯沼宗和, 大槻勝紀 : マンゴスチン果皮抽出物の α -mangostin はマウス転移性乳癌に対してリンパ節転移を抑制する. 第 27 回日本毒性病理学会. 大阪, 2011.1.28.
- Shibata MA, Ambati J, Albuquerque, RJC, Morimoto J, Ito Y and Otsuki Y : The endogenous soluble VEGF receptor-2, a new alternative splicing variant, suppresses lymph node metastasis in a xenograft model of metastatic mammary cancer. 第 88 回日本生理学会大会・第 116 回日本解剖学会総会合同大会, 横浜, 2010.3.30.
- 渡辺正仁, 渡辺克哉 : 関節と GABA システム (正常マウスと関節リウマチモデルマウスによる研究) 第 1 回 保健医療学会, 大阪 2011.12.4
- 森岡悦子, 金井孝典, 山田真梨絵 : 左一側病変による連合型視覚失認の 1 例—物品の形態知覚から意味記憶への過程—, 第 34 回日本高次脳機能障害学会, 東京, 2010.11.18.
- 金井孝典, 山田真梨絵, 森岡悦子 : 失語症者の在宅生活における活動状況について—コミュニケーション能力自立レベルを対象として— : リハビリテーションケア合同研究会. 2010.10.25
- 藤原百合, 西田友紀, 山口 忍, 山本一郎 : 先天性重度難聴成人に対する構音の視覚的フィードバック訓練—エレクトロパラとグラフィを用いて—. 第 55 回日本音声言語医学会, 東京, 2010.10.14.

- 大西晶子, 平海晴一, 山口 忍 他: 広汎性発達障害 (または疑い) 例の人工内耳装用経過. 第 55 回日本音声言語医学学会, 東京, 2010.10.15.
- 森 尚彫, 伊藤寿一, 平海晴一, 山口 忍 他: 成人における人工内耳装用閾値. 第 55 回日本聴覚医学会, 奈良, 2010.11.11
- 柴田尚美, 山口 忍 他: 小児における人工内耳装用閾値. 第 55 回日本聴覚医学会, 奈良, 2010.11.11
- 福山智子, 山本純子, 森田婦美子, 他 1 名: 卒業を控えた看護学生の自己受容と自尊感情の検討. 第 41 回日本看護学会看護総合, 山口県, 2010.7.16.
- 森田婦美子, 福山智子, 山本純子, 他 1 名: マタニティ・ヨーガを用いた効果に関する研究—こころの活気を導く介護予防ヨーガー—. 第 41 回日本看護学会母性看護, 茨城県, 2010.7.29.
- 福山智子, 森田婦美子, 山本純子, 他 1 名: 看護学生を対象にした青年期女性の月経随伴症状と自己受容および自尊感情との関連. 第 41 回日本看護学会母性看護, 茨城県, 2010.7.30.
- 福山智子: 青年期から成熟期における月経随伴症状の年代別比較検討, 第 41 回日本看護学会母性看護, 茨城県, 2010.7.30.
- 山本純子, 福山智子, 高橋弘枝, 他 1 名: 看護大学生及び看護専門学校生の自己同一性が就業動機に与える影響. 第 20 回日本看護学教育学会, 大阪府, 2010.8.1.
- 山本純子, 森田婦美子, 福山智子, 他 1 名: 看護学生の自己同一性がキャリア志向に与える影響. 第 36 回日本看護研究学会, 岡山県, 2010.8.21.
- 森田婦美子, 山本純子, 福山智子, 他 1 名: 脳の活性化を促す口腔内刺激-近赤外光イメージング装置を用いた脳血流量の測定を行って-. 第 41 回日本看護学会老年看護, 奈良県, 2010. 9.10.
- Akai Y, Tanaka H, Nakajima A, Fukuyama T, 他 6 名: The Relief of Lumbago in Pregnant Women-The relationship with bedding-. 2nd Japan China Korea Nursing Conference, Japan/Tokyo, 2010.11.20.
- Fukuyama T: An Inquiry into Modern Japanese Women's Menstruation --Concerning Good Self-care in Menorrhoea and Coping with Dysmenorrhoea as Covered in "Women's Hygiene Magazine"--. 14th East Asian Forum of Nursing Scholars, Korea/Seoul. 2011.2.11.

【学位取得・研究業績に対する受賞】

中村憲正 ICRS (International Cartilage Repair Society) Certificate of Merit

【研究助成金】

- 松尾善美, 山本清香, 内田 豊, 木谷文哉, 小形晶子, 森川孝子, 鎌田理之,

高島千敬, 北村重和, 阿部和夫: パーキンソン病における運動リズムと運動イメージ.
神戸学院大学平成 22 年度研究助成金, 100 万円.

- 佐藤睦美: 前十字靭帯不全膝の荷重スポーツ動作における運動解析 基盤研究 (C)
(2010 年採択, 大阪大学, 慶應義塾大学との共同研究)
- 中村憲正: 多能性幹細胞由来スキャフォールドフリー三次元人工組織による骨軟骨再生 (2010 年採択)
- 中村憲正: 3 次元再生軟骨・骨組織における安全性と有効性の確立 (2009 年採択, 東京大学との共同研究)
- 中村憲正: 「次世代機能代替技術の研究開発/次世代再生医療技術の研究開発/少量の細胞により生体内で自己組織の再生を促す自律成熟型再生デバイスの開発/(生体内で自律的に成熟する臓器再生デバイスのための基盤研究開発)」(2010 年採択, 大阪大学, 東京大学との共同研究)
- 中村憲正: 「次世代機能代替技術の研究開発/次世代再生医療技術の研究開発/少量の細胞により生体内で自己組織の再生を促す自律成熟型再生デバイスの開発/(生体内で自律的に成熟する臓器再生デバイスのための評価技術研究開発)」(2010 年採択, 東京大学との共同研究)
- 中村憲正: コンプレッションウェアがゴルフスイング動作に及ぼす影響 (ニッキー株式会社)
- 中村憲正: コンプレッションウェアが下肢の筋疲労に及ぼす影響 (ニッキー株式会社)
- 中村憲正: コンプレッションウェアが走行パフォーマンスに及ぼす影響 (ニッキー株式会社)
- 柴田雅朗: SATB1・VEGF-C siRNA とデコイベクターによる乳癌リンパ節転移阻止.
文部科学省基盤研究 C(2) (研究代表者 柴田雅朗), 平成 22 年度, 80 万円.
- 柴田雅朗: マンゴスチン果皮抽出物の α -Mangostin のラット肝発癌に対する予防効果の検討. 文部科学省産官学連携 (研究代表者 柴田雅朗), 平成 22 年度, 200 万円.
- 柴田雅朗: 分泌型 CEACAM-1 はマウス移植乳癌の血管とリンパ管新生を促進する.
文部科学省基盤研究 C(2) (研究代表者 伊藤裕子), 平成 22 年度, 10 万円.
- 松井理直: 2010 年度～ 科学研究費基盤研究(C) 認知的関連性のモデル化と文理解実験に基づく実証的研究 研究代表者
- 赤井由紀子, 福山智子, 高橋弘枝, 田間恵美子: 妊婦・褥婦の腰痛と骨盤ベルトの効果に関する研究: ハクゾウメディカル受託研究. 2010 年 10 月～2012 年 9 月, 120 万円.

【社会貢献活動】(社会活動, 公的機関の委員, 公開講座, 出前講座) 他

阿部和夫

- 高齢者 3000 万人時代のリハビリテーション. 元気だそ! 大阪, 大阪保健医療大学

公開講座，大阪市中央公会堂，2010.6.13.

中村憲正

- 彩都地区における地域活動：彩都健康スポーツ研究会の設立
- 日本社会人アメリカンフットボール協会
- アサヒ飲料チャレンジャーズ チームドクター
- 財団法人日本ゴルフ協会 アンチドーピング委員

柴田雅朗

- 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科集談会，癌治療の基礎研究：in vivo エレクトロポレーションを用いた癌遺伝子治療とマンゴスチンの話. 大阪府立大学大学院, 2010.6.16.
- 大学院特別講義 腫瘍内リンパ管新生および血管新生を標的とした転移性乳癌に対する実験的治療：VEGF-C および VEGF-A に対する siRNA とマンゴスチン果皮エキス. 岐阜薬科大学大学院・機能分子学大講座・生薬学研究室. 2010.7.6.
- 教育講演. 乳癌モデルを用いたリンパ節転移抑制：siRNA 発現ベクターとマンゴスチンの話. 和光純薬工業株式会社（大阪），2010.1.5.

森岡悦子

- 姫路市社会福祉審議会委員
- 姫路市高齢者福祉専門分化会委員
- 「地域リハビリテーション」誌（三輪書店）編集同人
- 高次脳機能障害と画像の見かた. リハビリテーション研修会，小倉,2010.9.9.

山口 忍

- 発達障害の理解 感覚について 京都市北総合支援学校教員研修会,2010.7.15
- 斉藤典昭,井崎基博：「ことば」と「ことばの発達の道筋」京都市総合支援学校教員研修会 知的発達研究会分科会,京都市,2010.8.23.

【教育業績】（作成した教材，実践）

山口 忍

- 広汎性発達障害児・者の聞こえの理解のために，聴覚過敏・騒音下の聴取などの疑似体験用教材の作成,2010.3.

【国際交流】

中村憲正

- トルコ共和国より Research Fellow 引き受け Mehmet Unlu, MD 2010年3月ー7月

【その他】

中村憲正

- 政策提言 厚生労働省 次世代医療機器評価指標作成事業 再生医療審査 WG (2009～2010年度) 座長 中村憲正

森岡悦子

- 巻頭言.地域リハビリテーション 5 (5), 2010.

柴田雅朗

- 第29回 2010 津軽三味線全国大会 シニアの部準優勝
- 第22回津軽三味線全日本金木大会 C級入賞
- 第22回津軽三味線全日本金木大会 団体3位

【所属学会・学会認定資格・学会役員等】

清野佳紀

小児医学研究振興財団理事

日本骨粗鬆症財団理事

大阪腎臓バンク理事

宇宙航空研究開発機構(JAXA)国際宇宙ステーション利用推進委員

宇宙航空研究開発機構(JAXA)有人サポート委員会委員

日本医師会男女共同参画委員会委員

厚生労働省 難治性疾患克服研究事業事前評価委員会委員

厚生労働省 成育疾患克服等次世代事前評価委員会委員

厚生労働省 成育疾患克服等次世代中間・事後評価委員会委員

公益財団法人 森永奉仕会 評議員

Journal of Bone and Mineral Metabolism Editor-in-Chief

Bone Editorial Board

阿部和夫

日本リハビリテーション医学会 (広報委員長, 専門医, 指導医, 研修施設代表指導責任者, 代議員, 近畿地方会常任幹事) ・日本神経学会 (専門医, 指導医, 研修施設代表指導責任者, 代議員, 近畿地方会評議員) ・日本神経心理学会 (評議員) ・日本高次脳機能障害学会 (評議員, 旧日本失語症学会), 日本内科学会 (指導医, 認定医) ・日本神経精神医学会 (評議員) ・日本臨床神経生理学会 (認定医, 評議員) ・日本頭痛学会専門医 (専門医) ・日本頭痛学会 (専門医) ・European Neurological

Society (ENS, Active member) ・ Movement Disorders Society (member committee) ・大阪
リハビリテーションネットワーク幹事

中村憲正

日本整形外科学会 ・ 日本関節鏡学会 膝・スポーツ整形外科学会 ・ 中部日本整形
外科災害外科学会 ・ 日本臨床バイオメカニクス学会 ・ 日本整形外科スポーツ医
学会 ・ 日本バイオマテリアル学会 ・ 日本軟骨代謝学会 ・ ISAKOS (International
Society of Arthroscopy, Knee Surgery and Orthopaedic Sports Medicine) ・ ICRS
(International Cartilage Repair Society)等

役 職

- ICRS (International Cartilage Repair Society) Executive Board (理事) Secretary General
2010~
- ISAKOS (International Society of Arthroscopy, Knee Surgery and Orthopaedic Sports
Medicine) Board of Directors, Members at Large (理事) Scientific Committee 科学委員
会 副委員長 Program committee 2009~
- 日本関節鏡学会評議員 2003~
- 日本膝関節学会評議員 2007~
- 2009. 12 ~Cartilage (Editor: Roy Altman) Editorial Board
- 2008.4~ Journal of Orthopaedic Science (Editor: Tetsuya Tamaki) Editorial Board
- 2009.4~American Journal of Sports Medicine (Editor: Bruce Reider)Principal Reviewer
- 2009.4~ Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy (Editor: Jon
Karlsson)Reviewer
- 2008.1~ Biomaterials (Editor: David F Williams) Reviewer
- 2008.9~ Tissue Engineering (Editor: Antonio Mikos) Reviewer
- 2008.10~ Clinical Orthopaedics and related research (Editor: Richard Brand) Reviewer

柴田雅朗

アメリカ癌学会 (Active member) ・ 日本組織細胞化学会 (評議員), 日本毒性病理学
会 (認定毒性病理専門家) ・ 日本臨床分子形態学会 (評議員・査読委員) ・ 乳癌基礎
研究会 (評議員・幹事・査読委員) ・ 日本生殖免疫学会 (評議員) ・ 日本癌学会
・ 日本遺伝子治療学会 ・ 日本解剖学会 ・ 日本再生医療学会 ・ 日本乳癌学会
・ 認定資格：認定毒性病理専門家 (JSTP)

松井理直

日本音韻論学会幹事 2007.4~2011.3 ・ 日本音響学会学会誌編集委員 2009.4~現在に
至る ・ 日本音声学会理事 2010.4~現在に至る ・ 日本認知科学会運営委員 2010.4~現

在に至る

福山智子

日本看護協会 ・ 日本母性衛生学会 ・ 日本看護科学学会 ・ 日本看護研究学会 ・ 日本看護学教育学会 ・ 日本健康教育学会 ・ 日本睡眠学会

山口 忍

日本言語聴覚士協会 ・ 日本音声言語医学会 ・ 日本聴覚医学会 ・ 日本口蓋裂学会 ・ 日本耳科学会

森岡悦子

日本高次脳機能障害学会 ・ 日本音声言語医学会 ・ 日本神経心理学会 ・ 日本認知心理学会 ・ 日本言語聴覚士協会